



## 小学校で ICT×手話言語学習のダイバーシティ教育

大阪教育大学附属平野小学校では、2022年7月7日（木）に公益財団法人日本財団(以下、日本財団)からゲストティーチャーを招き、タブレットを活用した手話言語に関する授業を、4年生の児童105名を対象に行います。

授業では、聴覚障がい・手話言語について学び、共生社会・インクルーシブ・多様性を理解することを目的として、児童たちは Chromebook で意見を共有しながら、日本財団が開発した手話学習ゲーム「手話タウン(\*)」を体験します。

同校では、2016年施行の「大阪市こころを結ぶ手話言語条例」に基づき手話への理解の促進に努めており、その一環として取り組むものです。



\*手話タウンについて <https://signtown.org/>

ICTを活用してより身近に、より気軽に手話の学習を始められる教材として、日本財団と香港中文大学が共同で開発を進め、Google および関西学院大学の協力のもと2021年9月23日の国連「手話言語の国際デー」に発表されました。学習者が学んだ手話をパソコンのカメラの前で表現すると、その手話表現が学習できたかをAI（人工知能）技術で確認することができます。ゲーム内のキャラクターが、手話を母語とするろう者の文化を説明するシーンもあり、手話や聞こえない人を理解する入口として活用することができます。

### 【授業概要】

日時：2022年7月7日（木）10：55～14：45 ※昼食・休憩（計65分）をはさんで45分×3学級

場所：大阪教育大学附属平野小学校 第一多目的室（大阪市平野区流町1-6-41）

### 【ゲストティーチャー】

日本財団(\*) 特定事業部 True Colors チーム（兼）グローバル・イシューチーム  
川俣 郁美(カワマタ イクミ)氏

\*日本財団について <https://www.nippon-foundation.or.jp/>

痛みも、希望も、未来も、共に。日本財団は1962年、日本最大規模の財団として創立以来、人種・国境を越えて、子ども・障害者・災害・海洋・人道支援など、幅広い分野の活動を推進しています。

<手話通訳士・手話通訳指導者：西田 功(ニシダ イサオ)氏>

### 【取材申込】

申込期間：2022年7月4日（月）17：00まで

申込方法：下記 URL の「取材依頼フォーム」より申込み

[https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/kouhou/pr\\_procedure/](https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/kouhou/pr_procedure/)

本件に関するお問い合わせ先

国立大学法人大阪教育大学 総務部総務課広報室 伊吹

TEL 072-978-3344/FAX 072-978-3225/MAIL [kouhou@bur.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:kouhou@bur.osaka-kyoiku.ac.jp)

